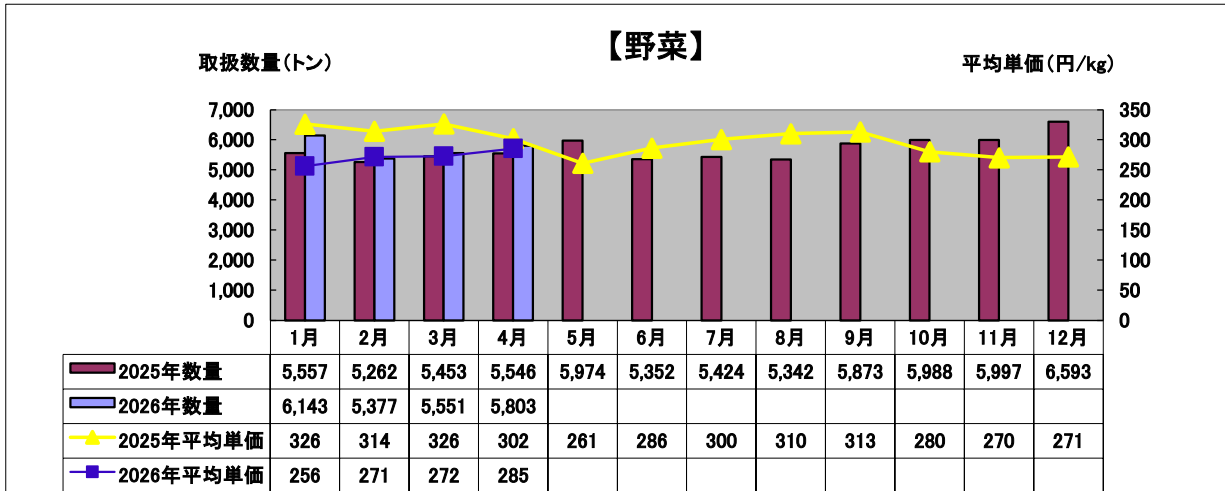
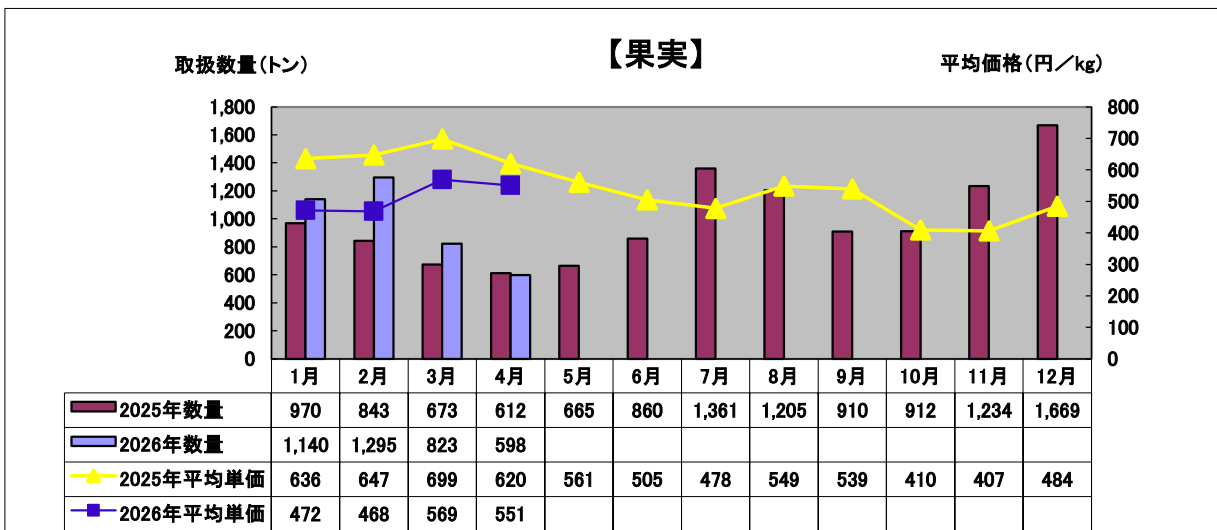


令和8年(2026年)4月 青果部種類別市況



キャベツ、馬鈴薯は潤沢な入荷があり高単価であった。トマト、レタスはほぼ昨年並みの入荷があり高単価となった。大根はほぼ昨年並みの入荷があったが単価は低迷した。全体として数量はやや増加し、平均単価はやや安く推移した。

前年比 数量105%、平均単価94%でした。



柑橘類は入荷量が多くなり、イチゴ、リンゴは入荷量が減となった。平均単価はイチゴは高単価、リンゴは平年並み、柑橘類は低単価で推移した。全体として数量は横ばい、平均単価は安くなった。

前年比数量98%、平均単価89%でした。